

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2005-354314(P2005-354314A)

【公開日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-050

【出願番号】特願2004-171774(P2004-171774)

【国際特許分類】

*H 04 N 1/46 (2006.01)*

*G 06 T 1/00 (2006.01)*

*H 04 N 1/60 (2006.01)*

【F I】

*H 04 N 1/46 Z*

*G 06 T 1/00 5 1 0*

*H 04 N 1/40 D*

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月1日(2007.6.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被修正色データとターゲット色データとを取得する取得手段と、

前記被修正色データと前記ターゲット色データとを用いて修正領域を算出する算出手段と、

入力データと前記被修正色データとを通る直線と、前記修正領域の境界と、の交点を算出する手段と、

前記交点と前記被修正色データとの距離と、前記交点と前記入力色データとの距離とに基づいて重み係数を決定する決定手段と、

前記入力色データが前記修正領域内である場合、前記ターゲット色データと前記被修正色データとの差分と前記重み係数とに基づいて、前記入力色データに対して色変換を行う色変換手段と

を備えることを特徴とする色処理装置。

【請求項2】

前記修正領域は、前記被修正色データと前記ターゲット色データを通る主軸と、前記被修正色データと前記ターゲット色データとの中点で前記主軸に互いに直交する2つの軸と、によって定義される橢円体であることを特徴とする請求項1に記載の色処理装置。

【請求項3】

コンピュータを、請求項1又は2に記載の各手段として機能させるためのコンピュータプログラム。

【請求項4】

被修正色データとターゲット色データとを取得する取得工程と、

前記被修正色データと前記ターゲット色データとを用いて修正領域を算出する算出工程と、

入力データと前記被修正色データとを通る直線と、前記修正領域の境界と、の交点を算出する工程と、

前記交点と前記被修正色データとの距離と、前記交点と前記入力色データとの距離とに基づいて重み係数を決定する決定工程と、

前記入力色データが前記修正領域内である場合、前記ターゲット色データと前記被修正色データとの差分と前記重み係数とに基づいて、前記入力色データに対して色変換を行う色変換工程と

を備えることを特徴とする色処理方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】色処理装置、色処理方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明は以上の問題に鑑みてなされたものであり、与えられた被修正色データとターゲット色データとを用いて修正領域を算出し、修正領域と入力色データとに基づいて重み係数を設定し、入力色データが修正領域内である場合にターゲット色データと被修正色データとの差分と重み係数とに基づいて入力色データに対して色変換を行う場合に、修正領域を「階調の反転」が発生しないように適切かつ簡易に設定することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

本発明の目的を達成するために、例えば本発明の色処理装置は以下の構成を備える。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

即ち、被修正色データとターゲット色データとを取得する取得手段と、

前記被修正色データと前記ターゲット色データとを用いて修正領域を算出する算出手段と、

入力データと前記被修正色データとを通る直線と、前記修正領域の境界と、の交点を算出する手段と、

前記交点と前記被修正色データとの距離と、前記交点と前記入力色データとの距離とに基づいて重み係数を決定する決定手段と、

前記入力色データが前記修正領域内である場合、前記ターゲット色データと前記被修正色データとの差分と前記重み係数とに基づいて、前記入力色データに対して色変換を行う色変換手段と

を備えることを特徴とする。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

本発明の目的を達成するために、例えば本発明の色処理方法は以下の構成を備える。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

即ち、被修正色データとターゲット色データとを取得する取得工程と、

前記被修正色データと前記ターゲット色データとを用いて修正領域を算出する算出工程と、

入力データと前記被修正色データとを通る直線と、前記修正領域の境界と、の交点を算出する工程と、

前記交点と前記被修正色データとの距離と、前記交点と前記入力色データとの距離とに基づいて重み係数を決定する決定工程と、

前記入力色データが前記修正領域内である場合、前記ターゲット色データと前記被修正色データとの差分と前記重み係数とに基づいて、前記入力色データに対して色変換を行う色変換工程と

を備えることを特徴とする。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

本発明の構成により、与えられた被修正色データとターゲット色データとを用いて修正領域を算出し、修正領域と入力色データとに基づいて重み係数を設定し、入力色データが修正領域内である場合にターゲット色データと被修正色データとの差分と重み係数に基づいて入力色データに対して色変換を行う場合に、修正領域を「階調の反転」が発生しないように適切かつ簡易に設定することができる。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】削除

【補正の内容】